



第106号 2025年4月1日発行

〒770-0855 徳島市新蔵町2-24 徳島大学 日亜会館3階
TEL (088)602-0151 FAX (088)602-0152 E-mail toku-sc@ouj.ac.jp巻頭
言

放送大学で

リカレント教育を受けて

徳島学習センター所長 橋爪 正樹

2024年度2学期に放送大学をご卒業された皆様、ご卒業おめでとうございます。学ぶことの喜びを体験されたかと思いますが、今後もぜひ学びを継続されることを期待します。また、2025年度1学期に入学された皆様、入学おめでとうございます。再入学された方々も心機一転、新たな学びに挑戦していただければと思います。

2020年のダボス会議の提唱を受け、現在、国を挙げて「リスクリング」が叫ばれています。それ以前は「リカレント教育」や「生涯教育」が叫ばれました。要は、人生100年時代となり、20代までに学んだ内容がそれ以降の豊かな人生を過ごす上で役立ち続けるわけではなく、学び直しが必要な時代になったということかと思います。

その学び直しを私も体験しようと、放送大学に令和6年2学期に科目履修生として入学し、文系科目1科目を受講しました。私自身は理系人間で、文系科目を勉強するのは実に48年ぶりでした。その科目で新しいスキルを獲得するわけではなく、現在の業務と直接関係しない科目なので、リカレント教育を受けたことになります。

まず、受講科目の選択に苦労しました。それは、勉学の目的が明確でなかったことが原因です。芸術や文学は仕事を通じてある程度触れていましたし、昨今、スタートアップ企業の設立が奨励されていることから、会社という組織について学べる科目を選び、インターネット出願をしました。しばらくすると放送大学から合格通知が届き、書類に『合格』と記載されているのを見て、学生として受け入れてもらえた喜びを感じました。

通知を受け取った時は、毎週1回分の授業を受けることを目標とし、帰宅後や休日にしっかり勉強しようと決意しました。しかし、放送授業のインターネット配信を利用すれば好きな時間に勉強できるため気が緩み、勤務で疲れていたこともあって何も手をつけませんでした。そうしているうちに

1ヶ月が過ぎ、通信指導の通知文書が届き、放送大学からも電話が入り、正直焦りました。その日以降、休日には自室にこもり、まず印刷教材で予習してから動画を見るようにし、わからない点は質問箱に質問しました。おかげで、どうにか通信指導提出前に前半部分の学習を終えることができました。

通信指導の猛勉強で疲れたこともあり、提出後は全く勉強する気になれずにいたところ、添削結果通知書が送られてきました。書類の最下行に小さく『合格』と書かれているのを見つけ、安心していたら、2週間ほどして単位認定試験の受験票が送られてきました。実はその時点で後半部分の勉強を全くしていなかったため、その日から勉強を再開しました。幸い、後半の内容は実例紹介が主で難易度も高くなかったため、どうにか試験開始前に全て視聴できました。その後、自習型問題、過去の単位認定試験問題、そして通信指導問題を解いて試験対策をしました。

単位認定試験は、非常にプレッシャーを感じながら休日に自室で受けました。試験は期間中いつでも受験できるため、体調を整えて休日の朝に受験しました。家族には受験中は邪魔をしないように伝え、自身のスマートフォンはマナーモードに設定し、試験環境を整えて臨みました。試験では5分ほど時間を残して解答を提出できました。成績がウェブにアップされるまでの2週間ほどは少し気になっていましたが、無事合格できたことを知り、達成感と喜びを感じ、プレッシャーから解放されホッとしたのを覚えています。

今回受講した科目がオープンコースウェア科目であることを先日ウェブで発見しました。そのため、わざわざ入学金・授業料を払い放送大学生にならなくてもその科目の勉強ができたので、他の科目を取ればよかったのですが、通信指導や単位認定試験の経験、そして単位取得の喜びを体験できたのが今回の収穫かと思っています。

放送大学での学び直しという目的は一応達成されました。放送大学からは、メールや郵便だけでなく電話でも継続入学を勧められたし、面接授業は未体験なので、先日、継続手続きをしました。無事に継続が認められた際には、一学生としても引き続きお付き合いいただければ幸いです。

開 所 時 間 の
変 更 の
お し ら せ

2025年4月より 開所時間は次のようになります。

ご協力の程よろしく願いいたします。

事 務 室
視聴学習・図書室火～~~土~~日 9:30～18:00火～~~土~~日 9:30～17:30

〈ものの見方や考え方〉を広げるゼミ「古今東西の風刺文学」

客員教員 山内 暁彦(やまうち あきひこ)

私はこれまで丸4年、客員教員として放送大学徳島学習センターで毎月1回「ゼミ」を担当してきました。初めの2年間はコロナ禍のせいでろくに実施できませんでした。令和5年度と6年度は、ほぼ毎月1回のペースで開講することができました。演題は私の専門である風刺とユーモアに引きつけた「古今東西の風刺文学」で、その中身としては、ジョン・スウィフトの『ガリヴァー旅行記』やジョージ・オーウェルの『動物農場』を扱い、主には原作の翻訳を章ごとに講読したり、作品の映像化作品を視聴したりしました。

翻訳はできるだけ多くの訳者による異なる訳を提供すべく、作品の章ごとに異なる訳本を使用しましたし、ビデオはアニメ版を視たり実写版を視たりして、原作や翻訳とは異なる視点で制作された作品に接するようにしました。いずれも、一つの〈ものの見方考え方〉に偏らない方が良さだろうという私自身の考えからです。1時間半という限られた時間内ではこれだけでも十分だったかもしれませんが、ゼミが単調にならないようにと思い、毎回の「ネタ」としてその時どきの風刺に関する様々な話題を提供するようにもしました。最近、マイケル・ムーア監督の反トランプ映画『華氏119』や、サラリーマン川柳やシルバー川柳の優秀作などの紹介もしましたし、イラストレーターの山藤章二が亡くなったときは彼の代表作をいくつか提示して彼の稀有な才能を惜しみもしました。

作品の講読やビデオの視聴だけでなく、毎回の「ネタ」を通じて、風刺やユーモアが関わりを持つ範囲がいかに幅広いものであり、私たちの社会や生活に密接な関連があるか、批判的精神がいかに世の中の古今東西の事象を見る際に必要不可欠であるかを、受講生の皆さん方に感じてもらうことができたのではないかと思います。皆さんは実はどなたも私より年長者でいらっしゃると思います。ゼミ中に聞かせて頂く人生の先輩方からの感想やコメントは、小生が日頃接している普通の大学生らとは大いに異なっていて、私自身の〈ものの見方や考え方〉を広げたり見直したりする契機になっていることに大変感謝しています。拙いゼミなのですがこの場を借りて受講生の皆さん方に改めてお礼を申し上げます。

今年度(令和7年度)もまた「古今東西の風刺文学」という演題でゼミを実施します。この演題だけを見ますといかにも範囲が広く茫洋としているのですが、ゼミで実際に扱う作品やネタは個別具体的なものになります。受講生の皆さんの希望も勘案しつつ何をどういう形で提供するかをいま考えている最中ですが、この文章が『よしの川』に載る頃にはしっかり定まっているはずですが。受講生の皆さんと共に今年度もまた「古今東西の風刺文学」とそのときどきの「ネタ」をご一緒に楽しみつつ、〈ものの見方や考え方〉を広げながら、風刺とユーモアを切り口に、世の中のあり方についていろいろと考えて行きたいです。

2024年度第2学期 ご卒業おめでとうございます。

2024年度第2学期で19名の方が卒業されました。

新たに学位記を授与された皆様にセンター職員一同お慶びを申し上げます。



2025年3月23日徳島学習センターにて
学位記授与式を開催。



橋爪所長 式辞



県教委生涯学習課長
新開様 祝辞



卒業生 謝辞



柳本 同窓会長 祝辞

☆教養学部☆

生活と福祉コース
心理と教育コース
社会と産業コース
人間と文化コース
自然と環境コース
情報コース

(敬称略)

森本 香織 ほか1名
東原 ゆかり、関山 みゆき ほか3名
三浦 康英、山口 哲男、吉成 俊輔
山城 政勝
大戸井 祥二、鉄谷 雅史 ほか1名
安西 俊治、三木 亜佐子、谷 正博 ほか2名

今回で3回目の卒業となりました。面接授業等で様々な経験をされた社会人の方と話をすることで、自分自身も大きな学びを得ることが多々ありました。引き続き再入学して、学習を継続していきたいと考えています。

(社会と産業 吉成 俊輔)

今回、放送大学2回目の卒業ですが今後も継続して学び続けたいと思います。

(心理と教育)

何としても修了したく5科目に挑戦、突然の体調異変が起り、4月から長期間の入院生活。これは、無理と覚悟をしたのですが、入院中は記憶・理解からみはなされないよう退院して本調子でない体調で、何とか諦めず頑張りましたね。5科目全部合格!!

諦めないことの結果としての体験は貴重な私の財産となりました。ありがとうございました。今回の修了は歓びひとしおです。感謝・感謝

(社会と産業 三浦 康英)

社会や会社などのありかたについて過去、現在、未来の課題について学ぶ機会となりました。

内外ともに激動の政治状況ですが、足元の生活者としての基本を教えていただく有意義なコースでもありました。次の目標は情報としていますので、解らないことは若い人に聴き各科目に挑戦したいと思っています。

(社会と産業 山口 哲男)



今回で6度目の卒業。名誉学生にリーチがかかりました。しかしながら、ここ数年は仕事やその他雑事で勉強らしい勉強が十分にできていません。

それでも、皆さまの支えがあってこの日を迎えることができたことに感謝をしたいと思います。

4月からは最後のコース、人間と文化に取り組めます。

今後ともよろしくお願いします。

(自然と環境 大戸井 祥二)

先生方、徳島センター長さんはじめ事務局皆様お世話になりました。厚く御礼申し上げます。今後は別コースにて学びを続ける予定です。引き続きよろしくお願いいたします。(情報 谷 正博)

私は2000年に選科履修生として1年間に学していましたが、2単位しか修得できませんでした。2013年ネットで放送大学を検索していたところ、放送授業をインターネットで配信しているという情報を聞いて再入学の手続をしました。長い歳月を要しましたが、ついに卒業できることになりました。放送大学の関係者に心より感謝いたします。

(自然と環境)

家族の協力があって卒業することができました。学ぶことの楽しさを知ることができました。ありがとうございました。

(心理と教育 東原 ゆかり)



3コース目の卒業となります。今後は、何か新しい別の活動を加えて、例えばそれが釣りなら、なぜそこにその魚がいるのか、海藻が多いからなのか、隠れ場があるからなのか、何を食べているのかといったことを調べる研究をしたいと思っています。また、放送大学の方は1学期2科目の緩いペースで継続していきたいと考えています。

(生活と福祉)

私は、教養学部、全科履修生に、第3年次編入学をしました。2年間で、必要な科目を履修いたしました。2年間は、想像していたより、短い期間でした。もう少し、面接授業や、ゼミなどを受けておけば良かったなど、少し後悔が、あります。機会があれば、再入学したいと思っています。

在学中にお世話になりました、先生方、職員の皆様にお礼申し上げます。誠にありがとうございました。今後は、放送大学での学びを活かし、仕事などを、頑張っていきたいと思っています。

(心理と教育)

教職員の皆様にはお世話になりました。有難うございました。今回が五度目の卒業になります。私はゼミ受講が楽しみでした。各分野の講義は新鮮で幅広く知識を得る機会になりました。時には講義中にウトウトとして失礼したこともありましたが、質疑、討議(雑談?)等は楽しいものでした。今後も再入学してキャンパスライフを楽しみたいと思っています。

(情報 安西 俊治)

放送大学には興味深い授業がたくさんあり、学ぶことを楽しめました。今後も学びを重ねていこうと思います。

(心理と教育)



今回、卒業させていただくのは、3コース目です。1コース目は、生活と福祉、2コース目は、心理と教育でした。いずれのコースも学び甲斐のあるものでした。特に、心理と教育では、認定心理士の資格を取得できたことが印象に残っています。体力、気力とも衰えが目立つ今日、この頃ですが、これからも、興味が続く限り、コツコツと学びを続けたいと思います。皆様には、大変、お世話になりました。

(人間と文化 山城 政勝)



今回在籍した「自然と環境コース」では、久しぶりに物理学や化学などの自然科学を学習する機会に恵まれました。昨年度は主に生物学や地学の科目を中心に学習を進め、特に福井県立大学の先生方から教わった恐竜学の面接授業が強く印象に残っています。

今年度は物理学や化学、数学の科目を多く履修し、難解な数式に悩まされることが多かったのですが、単位認定試験の結果通知で合格を知ったときは、この上ない達成感を味わいました。全コース卒業まであと一つとなり、最後の「生活と福祉コース」では教育と福祉の連携について考えてみたいと思いますので、今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

(自然と環境 鉄谷 雅史)

2025年1学期 徳島学習センター開設面接授業

★シラバスを確認してから登録してください。

●印の科目は 追加登録はできません。

科目区分		BYOD	科 目 名	担 当 講 師	開 催 日	会場について
基盤科目	外国語		健康や体調に関する基礎英会話 ●	勝藤 和子	4/12.13	
専門科目	情 報		コンピュータによる文字認識入門 ●	木村 義政	4/12.13	
専門科目	人間と文化		徳島藩における近世城下町の成立 ●	平井 松午	4/19.20	
専門科目	情 報	BYOD	Rで学ぶ多変量解析入門 ●	浅井 紀久夫	4/19.20	
導入科目	情 報	BYOD	生成AIの仕組みと使い方	石田 基広	4/26.27	
専門科目	生活と福祉		人の身体運動学	芥川 知彰	5/17.18	
専門科目	自然と環境		「大歩危小歩危」の地質探訪 ●	石田 啓祐	5/17.18	★5月18日(日)のみ 野外実習。
専門科目	心理と教育		心理検査法基礎実習	川西 智也	5/24.25	
基盤科目	一般科目		新・初歩からのパソコン	中山 慎一	5/31.6/1	
専門科目	生活と福祉		がん患者の精神を含めたりハビリ	今井 芳枝 森 拓也	5/31.6/1	
導入科目	人間と文化		ベートーヴェンとモラエス	石川 榮作	6/14.15	
専門科目	心理と教育	BYOD	心理学実験 3	川野 卓二	6/21.22	
専門科目	生活と福祉		がん患者や高齢者のスキンケア学	今井 芳枝 森 裕香	6/28.29	
総合科目			暮らしに役立つ微生物	櫻谷 英治	6/28.29	
専門科目	社会と産業		持続可能な交通計画	奥嶋 政嗣	7/5.6	
専門科目	自然と環境		昆虫学：基礎から応用へ	畠山 大	7/5.6	

2025年1学期 徳島学習センター開設ライブWeb授業

★シラバスで必ず確認してから登録してください。

●印の科目は 追加登録はできません。



徳島学習センター開設の「ライブWeb授業」です。履修登録は面接授業と同じ手続きでできるようになりました。シラバスを確認して、受講希望の方は、登録してください。

科目区分		科 目 名	担 当 講 師	開 催 日
専門科目	情 報	I o T 活用技術入門 ●	辻 明典	5/10(土),5/17(土),5/24(土),5/31(土)
専門科目	自然と環境	デジタルICのレイアウト設計	橋爪 正樹	6/8(日),6/14(土),6/15(日),6/22(日)
専門科目	心理と教育	心理学実験（基礎）	江口 洋子	6/1(日),6/8(日),6/15(日),6/22(日)

日程
変更

注意 ライブWeb授業科目の開催日の変更のお知らせ

【デジタルICのレイアウト設計】は冊子「面接授業時間割表」から日程変更しています。

【重要】徳島学習センター開講の面接授業受講について



2025年度第1学期からは、徳島学習センター開講の面接授業受講者へ事前の案内文書等は送付しませんので、必ずご自身でシラバスのご確認をお願いします。

通信指導は原則Web提出です。

「Web通信指導」による提出を基本とし問題冊子の送付はありません。郵送提出科目のみ「郵送提出」により実施します。なお、履修科目の通信指導問題は4月上旬に授業共有ファイル(システムWAKABA→授業サポート→授業共有ファイル)にアップロードされます。

郵送提出科目 「市民自治の知識と実践(’21)」「日本美術史の近代とその外部(’18)」

「日本政治思想史(’21)」「空間と政治(’22)」「文学批評への招待(’18)」

通信指導を提出しなければ単位認定試験の受験資格は得られません。必ず期限内に提出してください。

※パソコン・ネットワークのトラブルや郵便事情により間に合わなかった場合でも未提出扱いとなります。余裕をもって取り組んでください。

提出期間	Web通信指導:2025年5月8日(木)10:00～5月28日(水)17:00 郵送:2025年5月14日(水)～5月28日(水)必着
通信指導問題	4月上旬にシステムWAKABAの授業共有ファイル(システムWAKABA→授業サポート→授業共有ファイル)にアップロードします。
Web提出が困難な方へ	「単位認定試験受験場所変更願」で受験場所を「学習センター」にして提出すると、問題一式が送付されます。4月15日(火)必着で提出した場合、4月下旬までに問題が届きます。
提出状況の確認	Web通信指導トップページ画面において「科目一覧」の各科目の欄内に「提出済(送信済)」と表示されます。システムWAKABAの画面は、目安として提出(送信)した日の翌日か翌々日に「受理」と表示されます。
自習型問題の解答・解説	通信指導の答案を期限までに提出した方には、自習型問題の解答・解説が通信指導の添削結果とは別便で送付されます。 6月25日頃までに届かない場合は大学本部へお問い合わせください。
評価	提出された答案は添削され、結果が送付されます。通信指導に合格すると、当該科目の単位認定試験の受験資格が得られます。【添削結果返送時期】2025年6月末～7月上旬 ☆択一式は7月3日(木)、記述式は7月9日(水)までに届かない場合は大学本部にご連絡ください。

単位認定試験について

単位認定試験はWeb受験方式(一部の科目は郵送受験方式)で行っております。試験期間中は、24時間いつでもご自宅等で受験できます。

◆郵送受験の科目【「行政学講説(’24)」「正多面体と素数(’21)」「日本美術史の近代とその外部(’18)」「量子化学(’19)」】については、Webは利用しないため、学習センターでの受験は実施しません。

自宅での受験が困難な方の 学習センター受験について

ご自宅にインターネット環境がない、またはパソコン操作が困難等の事情により、自宅等でのWeb受験が困難な方は、次の様式・期間・宛先に申請の上、学習センター等で受験できます。

受験時に自分で操作できるように、必ず体験会に参加してください。

◆申請様式◆「単位認定試験受験場所変更願」(「学生生活の葉」巻末様式15)

◆申請期間◆2025年 4月 1日(火)
～4月30日(水)必着

◆申請宛先◆
〒261-8586 千葉市美浜区若葉2-11
放送大学学務部学生課 単位認定試験係

モバイル端末での受験について

モバイル端末(タブレット、スマートフォン)でも基本的には受験可能ですが、文字のサイズやレイアウトが機種によって異なりますので必ず、受験に使う機材で体験版を操作し、解答提出ができるか確認しておいてください。

単位認定試験体験版

Web単位認定試験の提出までの操作を体験できる「Web単位認定試験体験版」を公開しています。解答提出までの操作方法や、ご自身の受験環境での動作を確認するために、事前に体験版で操作しておいてください。

単位認定試験

操作体験会のご案内

学習センターで単位認定試験操作体験会を開催します。(7月に開催予定)

◆センターで受験される方は必ず体験会にご参加ください。

◆自宅での受験に不安がある方も参加いただけます。
ご希望の方は電話にてお問い合わせください。

所長・客員教員のご紹介 & ゼミのお知らせ

教 員 名	研 究 分 野	相 談 日 時	ゼミ
橋爪 正樹 徳島学習センター所長 徳島大学名誉教授	電子回路工学	随 時	「 新社会におけるエレクトロニクス 」 第1金曜日 14:00～15:30 創られようとしているソサイエティ5.0という社会におけるエレクトロニクスについて学びます。(PCを使用します)
奥嶋 政嗣 徳島大学大学院教授	土木計画学 交通工学	第2・3 木 曜 日 10:00～ 12:30	「 地方都市の社会基盤デザイン 」 ² 第 ~~1~~ 木曜日 10:30～12:00 社会基盤デザインの考え方とともに、社会基盤整備、リスクマネジメント、まちづくり、モビリティ社会について学び、これからの地方都市における方向性を考えます。
今井 芳枝 徳島大学大学院教授	がん看護学	水 曜 日 12:00～ 15:00	「 がん看護学 」 第4水曜日 13:00～14:30 がんの病態、性質や治療、意思決定などを紹介するとともに、がん看護学について学びます。
豊田 哲也 徳島大学大学院教授	人文地理学 地域経済学	第2・4 木 曜 日 ~~9:30~~ ~~10:00~~ ～ 12:00	「 地域課題の分析アプローチ 」 第4木曜日 ~~10:30~~ ^{10:00} ～11:30 地域をめぐるさまざまな問題について、客観的・論理的に考察する方法を学びます。徳島県が持つ魅力や課題についても考えます。
佐藤 健二 徳島大学大学院教授	臨床心理学	第1・3 水 曜 日 10:00～ 12:30 *4～9月	「 心の健康の回復と増進 」 第3水曜日 10:30～12:00 心の健康の回復と増進に関して、社会心理学との接点の領域(不安、抑うつ、ストレス、トラウマなど)について、主に認知行動療法の観点から学びます。
山内 暁彦 徳島大学大学院 准教授	英米文学	水 曜 日 9:30～ 11:30	「 古今東西の風刺文学 」 第2水曜日 9:45～11:15 古今東西の文学作品における風刺やユーモアについて学びます。
川西 智也 鳴門教育大学大学院 准教授	臨床心理学	第2・4 金 曜 日 10:00～ 13:00	「 コミュニティのなかでの心理支援 」 第4金曜日 10:30～12:00 学校、児童養護施設、高齢者施設、自助グループなど、様々なコミュニティのなかでの心理支援について学びます。

学 習 相 談

- ・学習上の相談(効果的な学習方法・レポートのまとめ方など)について、所長および客員教員が直接相談に応じます。(30分程度)
- ・学習相談の日程は教員の都合により変更となる場合があります。相談希望の方は窓口、メール、電話などで事務室までお問い合わせください。

なお、上記の相談可能日時の中で、ゼミ開催時間以外で予約してください。

ゼミ 受 講

受講は無料です。

- ・事務室受付カウンターにある受講申込用紙にて申し込むか、電話・メールにてお申し込みください。
- ・急な日程変更や中止になることがありますので、センターHP・センタースケジュールをご確認ください。

事務室だより

学生証の交付について

「学生生活の栞」学部p.23～25・大学院p.34～37、センター「利用の手引き」p.12

入学当初の方、学生証の有効期限が切れた方には学習センター窓口にて学生証の交付を行っています。学生証の有効期限は全科履修生では2年間、選科履修生は1年間、科目履修生は半年間です。(単位認定試験センター受験や面接授業受講、視聴学習・図書室利用等に必要です。)次の手続きで、窓口で交付を受けてください。



- 新規入学者は入学許可書をご持参ください。
- 学生証の有効期限が切れている方は旧学生証をご持参の上、新しい学生証と交換してください。
- 顔写真が未登録の方は発行ができませんので写真の登録を済ませて窓口にお越しください。

■郵送による交付申請希望の場合は、

- 1) 「入学許可書」のコピー又は期限の切れた学生証
- 2) 返信用封筒(宛名明記し、簡易書留または 特定記録の郵便料金の切手を貼付したもの)
- 3) 新規入学者は本人確認のできる証明書のコピー(運転免許証等)

以上3点を同封の上、学習センターまで送付してください。

■紛失及び氏名変更等の再発行について

「学生証再発行願」(「学生生活の栞」巻末の様式8、大学院は様式7)にご記入の上、ご持参ください。再発行時のみ手数料500円が必要です。

各種証明書の発行について

「学生生活の栞」学部p.101～103・大学院p.102～103、センター「利用の手引き」

各種証明書の発行を行っています。「学生生活の栞」末巻にある様式9、10(大学院は様式8、9)に必要な事項を記入の上、事務手数料(1通200円)を添えて、学習センター窓口までお申し込みください。

「諸証明書交付願」はシステムWAKABAからダウンロードできます。

通常の証明書は発行までに申請を受け付けてから20分程度時間をいただいております。

なお、教員免許状申請のための「学力に関する証明書」や資格取得のための特別な成績証明書(学部は様式10、大学院は様式9)については、発行までに2週間程度

の時間を要します。締切に間に合うようにお申し込みください。郵送でもお申込みいただけます。

■郵送による申請希望の場合は、

- ①諸証明書交付願
- ②現金書留または郵便定額小為替証書(1通200円)
- ③返信用封筒(長形3号封筒に宛名明記、110円切手を貼付)

以上3点を同封して学習センターまで送付してください。



学割証(学生旅客運賃割引証)の発行

徳島学習センターで発行できるのは、JR(乗車券・回数券)の学割証です。対象は全科履修生及び修士全科目・博士全科目のみです。授業を受けるために、自宅から学習センターまたは大学本部に通学する場



「学生生活の栞」p.128、センター「利用の手引き」p.12

合などに使用できます。詳しくは、徳島学習センター発行の「利用の手引き」(p.10)「学生生活の栞」(学部p.128～、大学院p.128～)を参照ください。

システムWAKABAの初期パスワードは必ず変更してください。

システムWAKABAのパスワードは不正利用を防ぐため、必ず初期パスワードを変更してください。初回ログイン時に、必ず初期パスワードの変更を行ってください。初期パスワードが変更されていない場合、ログインすることができません。

パスワードの変更は、下記 URL から行えます。
<https://sso.ouj.ac.jp/webmtn/LoginServlet>

※パスワードを変更してもログインできない場合には、パスワードを初期化する必要があります。

【システムWAKABAログインに関する問合せ先】

・本部教務課教務係

E-mail: kyoumuka@ouj.ac.jp

・学生サポートセンター TEL:043-276-5111

・徳島学習センター TEL:088-602-0151

卒業研究履修ガイダンス・大学院（修士全科・博士）入学希望者ガイダンス

2025年に卒業研究を履修希望している方、また、大学院の修士全科生、博士後期課程に入学を希望している方に向けてのガイダンスを行います。

★卒業研究履修ガイダンス

■場所：徳島学習センター3階講義室

■日時：6月8日(日)14:00～

☆資料の準備の都合がありますので、
事前にお申し込みください。

★大学院入学希望者ガイダンス

■放送大学本部Webサイトに資料や動画を掲載します。

☆各自で閲覧視聴してください。

単位認定試験問題・解答等の公表

2024年度第1学期・2024年度2学期の単位認定試験問題(全科目)と解答(一部)・解答のポイント等は、右記の期限迄システムWAKABA「学内リンク」(トップページ右上)にて掲載するとともに、視聴学習・図書室にて公表(閲覧のみ・撮影可)しています。

学生生活の栞【学部】p.80～【大学院】p.85～

◆2024年度第1学期の試験問題・解答等

公表期限：2025年 8月14日(木)まで

◆2024年度第2学期の試験問題・解答等

公表期限：2026年 2月12日(木)まで

学生教育研究災害傷害保険(学研災)への加入について

学生教育研究災害傷害保険(学研災)は教育研究活動中(面接授業受講中、大学行事に参加している間など)の不慮の災害事故補償のための制度です。万一の事故に備え、保険に加入されることをお勧めします。面接授業の科目によっては、受講の際に加入が必須の場合もありますので、

その際は受講の前日までにお手続きください。

保険料は100円で加入すると加入日の翌日午前0時から起算して最長6年間保証の対象となります。ただし連続して在学中であることが必要です。

機関紙「よしの川」の郵送希望の申込について

機関誌「よしの川」は今年度より郵送対象を次のように変更いたしました。

○4月号・10月号 新入学生全員と在学生の郵送希望者のみ

○7月号・1月号 在学生の郵送希望者のみ

郵送を希望する 在学生は、ハガキ・メール・FAX・窓口のいずれかに必要事項(学生番号・氏名・郵便番号・住所・機関誌「よしの川」郵送希望)を記入の上、お申込みください。

※お電話での申し込みはご遠慮願います。

なお、徳島学習センターウェブサイトには、年4回の時期に掲載すると共に、センター内にも配架しますのでご覧ください。一度申し込みいただいた方については、学

籍が継続している間は郵送いたします。ただし、今後Web化への見直しによって郵送できなくなることもございますのでご了承ください。

【宛 先】 〒770-0855

徳島市新蔵町2丁目24番地

徳島大学日垂会館3階

放送大学徳島学習センター

【E-mail】 toku-sc@ouj.ac.jp

【FAX】 088-602-0152

※メール・FAXの件名に【よしの川郵送希望】と記入してください。

学習センター内で落とし物・忘れ物について

徳島学習センターの施設内での落とし物、忘れ物につきましては、拾得した日から3ヶ月間は事務室にて保管しております。それを過ぎますと、処分させていただきます。

す。お心あたりのある場合は、早めに学習センターまでお問い合わせください。

Wi-Fi(WiFi-houdai)のオンラインでの利用申請について

学習センター内で個人のパソコン・スマートフォン・タブレットのWi-Fi接続ができます。

システムWAKABAよりオンライン申請が可能となりました。Wi-Fi houdaiは全国の学習センター及びBYOD方式の面接授業でご利用いただけます。



【申請方法】

WAKABA>各種届出・申請様式>「無線LAN利用申請（オンライン）について」の「参考URL」からオンラインで申請

【手順】

1) 情報セキュリティ研修を受講し、合格する。

(システムWAKABA→自己学習サイト→情報セキュリティ研修)

2) 小テスト合格後にオンライン申請

- ・氏名入力
- ・無線LAN利用条件に同意
- ・申請する
- ・即時発行

*なお、認証用IDを失念した方は、申請画面で再度確認できます。

◆センターのWi-Fi接続に係るパスワードは変更できませんのでご注意ください。

◆県外の学習センターでも、同じIDおよびパスワードを使用してインターネット接続が可能です。(一部の学習センターを除く。)

トピックス

清水佐市さんWi-Fi houdai手続き完了！

現在102歳の清水佐市さん(徳島SC所属)は、今年1月に情報セキュリティ研修を終了し、Wi-Fi houdaiの利用手続きを完了しました。これからはパソコンでいろいろ勉強してみたいと意欲的です。



図書室だより

★開所・閉所時間変更のお知らせ★

火曜～日曜 9:30～17:30

【平日も土日と同じ時間の開閉所となりました】

※閉室日 月曜・祝日

単位認定試験期間(7/16～24)

年度末(3/24～31)

視聴学習・図書室ご利用の際のご注意

学習センター図書室内のDVD・CDは、室内でのみ閲覧・視聴することができます。貸出はできません。学習される際は室内にある専用端末からインターネット配信で視聴してください。放送授業のDVD・CDの貸出は本部で一括して行っております。

2025年1学期より、徳島学習センター図書室、禁帯出以外の一般図書の貸出を再開いたします。

*室内では録音・撮影・資料複製は固くお断りいたします。

*携帯電話・スマートフォン・電子辞書などの電子機器は音の出ない設定に切り替えてください。通話はラウンジにてお願いします。



◎入室の際にカウンターへ学生証をお預けください。

◎貴重品以外、学習に必要なない手荷物はコインロッカー(100円・使用後返金)へお預けください。



・図書資料の複写をご希望の場合は「文献複写申込書」にご記入のうえ、複写したい図書資料とともにカウンターへご提出ください。(複写にあたっては一部制限があります。)

◆資料整理や機材の調整などで臨時閉室することもあります。その際は学習センターHPにてお知らせいたします。

◆毎月20日前後に、翌月の「図書室だより」を発行しております。ご利用ください。

尚、2025年度より、図書室からのお知らせは徳島学習センターのHPよりご確認ください。

「まなびの森」講演会について

- 徳島学習センターは、徳島県立図書館との共催で、毎月1回土曜に「まなびの森」講演会を開催しています。今年度1月から3月にかけての開催状況は次のとおりです。

2025年1月25日（土）



カズオ・イシグロの世界
—『日の名残り』を味わう—

四国大学文学部 教授 阿部 曜子

2025年2月15日（土）



非行少年の現在

徳島文理大学人間生活学部 教授 渡邊 悟

2025年3月15日（土）



人口減少社会における地域づくりのマネジメント
徳島大学人と地域社会共創センター

講師 森田 裕也

- 2025年度前期(4月～9月)の「まなびの森」講演会の内容は次のとおりです。参加には、電話での事前予約（☎088-602-0151）が必要です。（※定員は各回40名、申込受付は各講演会開催日の1か月前からです）

開催日時	内容	講師
4月19日(土) 13:00～15:00	徳島の巨樹の話 — 歴史・伝承・保護について —	徳島大学生物資源産業学部 教育教授 佐藤 征弥
5月17日(土) 13:00～15:00	油屋熊八の世界 — 油屋将軍と呼ばれていた —	徳島県立総合大学校 とくしま学博士 渡辺 美知子
6月21日(土) 13:00～15:00	吉野川流域の文化的景観 — 藍作と竹林・搔寄(かきよせ)堤・高石垣家屋 —	徳島大学名誉教授 平井 松午
7月19日(土) 13:00～15:00	サイバーセキュリティの世界 — 脅威とその対策 —	鳴門教育大学情報基盤センター所長 教授 曾根 直人
8月16日(土) 13:00～15:00	日本刀から学ぶ材料の強さ	徳島大学名誉教授 英 崇夫
9月20日(土) 13:00～15:00	「戦国初の革新児」・「華麗なる天下人」三好長慶 — 戦国の世に『理世安民』を掲げるって、どんな人物? —	徳島県立総合大学校 とくしま学博士 阿部 敏男

□ 会場変更のお知らせ

徳島県立図書館改修工事のため、2025年4月から6月までの「まなびの森」講演会は、徳島県立21世紀館1階多目的活動室で開催します。事前に会場を確認の上ご参加ください。

改修工事終了後の2025年7月以降は、通常どおり徳島県立図書館3階集会室にて開催します。

退任のあいさつ

2025年3月末で退任された2人の先生方より 退任のあいさつをお寄せいただきました。

客員教授 川野 卓二(徳島大学名誉教授)

徳島学習センターの客員教員としての任から3月末をもって退任いたしました。5年間の在任中、皆さまには大変お世話になりました。本当にありがとうございます。私が着任した2020年4月は、くしくも新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が拡大し始めた頃で、対面での授業を実施することが難しい状況が続くなか、教育現場でも遠隔システムが、盛んに取り入れられるようになりました。

センターの機関紙「よしの川」にこれまで2回、「Afterコロナ」「Withコロナ」、そして「Beyondコロナ」と題した巻頭言を書かせていただきました。教育機関での学び方にも新型コロナウイルスの影響による大きな変化があり、皆様もその変化に対応するために大変な苦労をされたかと思います。先行きが不確かな時代にあっても放送大学での学びを通して前進し続けようとされている受講学生の皆さまの意欲・決意に敬意を表します。

センターで実施した月1回の「行動統計学」ゼミでは、「データの分析・理解に役立つエクセルを活用した統計

法」を、実際にPCを使いながら学びました。また、「心理学実験3」や「心理学統計法入門」、「心理学統計の基礎-推測統計編」の面接授業や阿南市椿町での公開講座の講師をさせていただきました。それらに参加し熱心に受講された皆さまとの交わりからも多くのことを学ばせていただきました。なかでも、面接授業を受講された一人の学生さんの卒業研究の指導に携わる機会があったことは、私自身にとってもこれまでの教員生活を振り返り、物事を統計的に捉え考えることの意義についてより深く考えるよい機会となりました。

最後になりますが、コロナ禍を通じて「意識的に学び生きる」という選択肢の存在を常に自覚しながら生活することの大切さに改めて気づくことができたこの5年間という時間に感謝しています。皆さまのいつも前向きな姿勢に励まされ、さらにセンターのスタッフの方々をはじめ皆さまのご協力により勤めることができましたことに心より感謝申し上げます。皆さまの今後ますますの円熟発展をお祈りいたします。



客員教授 平井 松午(徳島大学名誉教授)

昨年4月1日に放送大学徳島学習センターの客員教授に就任し、予定通りこの3月末をもって退任いたします。1年間、お世話になりました。センターでのこの1年間の主な活動は、毎月1回開催してきたゼミナールと6月22日(土)・23日(日)に実施した面接授業です。

ゼミナールでは「日本図の歴史」を取り上げて、日本列島を描いた各種の古地図、中世の行基図や江戸幕府撰日本図、伊能図などについて解説してきました。受講者は当初3～4名でしたが、徐々に増えて最終的には7～8名の方にご参加いただきました。受講者の年齢層はやや高めでしたが熱心な方が多く、楽しく意見交換することができました。

面接授業では、「吉野川流域の歴史と景観」というテーマで8回の授業を行いました。吉野川および流域の地理的特性や吉野川を描いた各種の絵図から、流域の歴史的景観や特産品であった阿波藍について考察しました。吉野川流域での藍作については、機関紙「よしの川」の前号(105号)でも取り上げました。

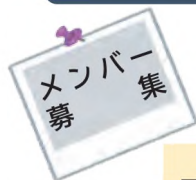


また、この1年での印象的な出来事は、徳島学習センターが入る徳島大学日亜会館1階のガレリア新蔵で、2024年7月16日～10月27日に企画展「徳島大学総合科学部創立150周年記念展—近代徳島と人材育成」を開催したこと。これは、明治7年(1874)5月1日に開校した徳島期成師範学校を母体とする徳島大学総合科学部の創立150周年を記念するイベントで、ご覧になられた方もおられるかと思います。年表や地図・各種資料の展示パネルの作成を担当しました。なお、平成18年(2006)3月にオープンした展示施設「ガレリア新蔵」は、私も設計段階から関わってきたことから思い入れのある空間です。

客員教授は退任いたしますが、徳島学習センターとの関係はもう少し続きそうです。この4月19日(土)・20日(日)には早速、「徳島藩における近世城下町の成立」をテーマに面接授業を行います。授業では、徳島城下町と阿波九城(支城)、洲本城下町などを取り上げて、近世城下町の成立と構造について考えます。また、6月21日(土)には、徳島学習センターが徳島県立図書館と共同開催しているまなびの森講演会で「吉野川流域の文化的景観」と題してお話しする予定です。

こうした機会を通じて、今後とも皆さんと引き続き交流できればと思っています。ありがとうございました。

先生方大変お世話になりました。2025年度1学期の面接授業もよろしく願いいたします。お元気活躍されますことをお祈りしております。



英語翻訳同好会

日時:月1回、第2水曜日16時から
対象:放送大学生 (徳島学習センター所属)
必要:スマホ(パソコン可)

メンバー募集中。
お気に入り作品の
和訳に挑戦します。

お問い合わせは徳島学習センター事務室まで。

サークルを結成しませんか？

学生同士で仲間を募って新しいサークル(学生団体)の結成しようとする場合は、所定の手続きで公認の団体となり、大学の施設を利用することができます。結成を希望する際には職員にご相談ください。



履修科目情報交換会開催

履修科目情報交換会は同窓会として初めての試みで、1学期の科目登録前に参考にしていただこうと2月15日(土)に開きました。

最初にエキスパート制度について三好事務長様から説明をいただきました。放送大学では他大学に先駆けてこの制度(科目群履修認証制度)を運用していましたが、学校教育法に「履修証明制度」として規定され対応していることや、体系的な学習につながることの説明をうけました。

続いて名誉学生(全コース卒業)のお二人からこれまでの経験や今後についてお話しいただきました。放送大学の授業や単位認定試験、それらにまつわる行事についてご家族の理解や協力が大きかったこと、長年の間に放送大学が生活の一部になっていたこと、他大学への編入や進学のあることなどを語って下さいました。また、面接授業についても具体例を挙げて面白さを教えていただきました。同窓会の会員には多数の名誉学生がおられます。

履修科目の情報交換では各参加者がお薦めする科目について選択した動機や面白さ、それによって意識や考えが変わったことなどを丁寧に伝えて下さいました。参加者同士の意見交換もあり活発な情報交換となりました。卒業の目途がついたので残りの科目は楽しんで授業を

選びたいという意見もありました。また、放送授業は年限があって無くなってしまうので放送を見直したいと思うなら自分で保存しておいた方がいいというアドバイスや 面接授業は単に対面での授業だけではなく一緒に受講する方々との出会いも大きな魅力であること、英会話の授業は無いのでゼミの開講をお願いしてはどうか、国際交流協会主催のイベント等に参加してみてもいいかなどちょっといい話も聞くことが出来ました。

今回は試験的開催ということで、Zoomでの参加も可能としました。準備についても席の配置や科目の聞き取り等改善の余地があると感じました。皆様の希望がありましたら今後もアップデートして開催したいと考えておりますのでその折には是非ご参加下さい。参加者が多いほど情報量が増えることと思いますので是非ご参加下さい。



2025年度徳島学習センター教職員紹介

教員 所 長	橋爪 正樹
客員教授	奥嶋 正嗣
	今井 芳枝
	豊田 哲也
	佐藤 健二
客員准教授	山内 暁彦
	川西 智也

職員 事務長 三好 信幸
ほか 6名

*皆さまの学びをサポートできるように勤めます。
どうぞよろしくお願いいたします。

よろしく願います



スケジュール

2025年4月～6月

は 閉所日
面接 は 面接授業開講日
ライブ は ライブWeb授業開講日

開所時間 変更しました

事務室 9:30～18:00
視聴学習・図書室 9:30～17:30

2025年 4月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12 面接
13 面接	14	15	16	17	18	19 面接
20 面接	21	22	23	24	25	26 面接
27 面接	28	29	30			

- 1 火 放送授業開始
- 4 木 オンライン授業開始
- 11 金 面接授業空席発表・
- 17 木 追加登録(～7/13)
- 29 火 閉所(昭和の日)

★センター開講授業

- 12・13 土・日 健康や体調に関する基礎英会話 (勝藤 和子先生)
- コンピュータによる文字認識入門 (木村 義政先生)
- 19・20 土・日 徳島藩における近世城下町の成立 (平井 松午先生)
- Rで学ぶ多変量解析入門 (浅井 紀久夫先生)
- 26・27 土・日 生成AIの仕組みと使い方 (石田 基広先生)

2025年 5月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10 ライブ
11	12	13	14	15	16	17 面接
18 面接	19	20	21	22	23	24 ライブ
25 面接	26	27	28	29	30	31 面接

- 1 木 ライブWeb授業開始
- 3 土 閉所(憲法記念日)
- 4 日 閉所(みどりの日)
- 5 月 閉所(こどもの日)
- 6 火 閉所(振替休日)
- 8 木 通信指導提出開始
- 28 水 通信指導提出締切 (Web17:00まで/郵送必着)

★センター開講授業

- 17・18 土・日 人の身体運動学 (芥川 知彰先生)
- 「大歩危小歩危」の地質探訪 (石田 啓祐先生)
- 24・25 土・日 心理検査法基礎実習 (川西 智也先生)
- 31・6/1 土・日 新・初歩からのパソコン (中山 慎一先生)
- がん患者の精神を含めたリハビリ (今井 芳枝先生・森 拓也先生)
- 10・17・24・31 土 IoT活用技術入門 (辻 明典 先生)

2025年 6月

日	月	火	水	木	金	土
1 ライブ	2	3	4	5	6	7
8 ライブ	9	10	11	12	13	14 面接
15 面接	16	17	18	19	20	21 面接
22 ライブ	23	24	25	26	27	28 面接
29 面接	30					

- 8 日 卒業研究履修ガイダンス
- 10 火 2学期出願受付開始

★センター開講授業

- 14・15 土・日 ベートーヴェンとモラエス (石川 榮作先生)
- 21・22 土・日 心理学実験3 (川野 卓二先生)
- 28・29 土・日 がん患者や高齢者のスキンケア学 (今井 芳枝先生・森 裕香先生)
- 暮らしに役立つ微生物 (櫻谷 英治先生)
- 8・14・15・22 土or日 デジタルICのレイアウト設計 (橋爪 正樹先生)
- 1・8・15・22 日 心理学実験(基礎) (江口 洋子先生)

★センターの臨時閉所、センターの行事の急なお知らせは表紙の右上に掲載しているQRコードから学習センターHPにアクセスしてください。

★ゼミの開講についてはセンタースケジュールを確認してください。

センタースケジュール

システムWAKABA

